

磐城時報

日刊 一十月
編輯者 石城郡平町植田電氣株式會社
印刷者 石城郡平町植田電氣株式會社
發行所 石城郡平町植田電氣株式會社
電話 一四四
廣告料 一行十四字 一月五十五圓
代刊 (日曜 祭日) 休刊

霧笛信號機を

政府に寄附請願

一縣下漁船のためのみてない 志賀豊間村長から提出

豊間村植田燈臺敷地内に建設から縣水産會では何時迄もあつた本縣水産會唯一の事業であつたが、國の施設を待たずに霧笛信號機は横濱燈臺局石川博士の設計により昨夏竣工非常な好成績を収めて居るもその建設費に至つては國及縣からの補助と地方からの寄附とによつて辛うじて三千四百圓を得たもので此後年々の維持費六百圓から要するも抽出所ないため別項の如く之れを政府に寄附すべく地元名義豊間村長志賀安治氏をして安達逓信大臣へ提出せしめたが之について當局は語る、本縣沖合は本邦有数の豊漁場として知られ殊に鯉魚、鰯漁期の如きは遠く關西方面からの漁船が來航する程であるが春季より夏季にかけては濃霧甚だしくために漁船ばかりでなく大型汽船でさへ尚方向を誤り衝突、難波等危険此上もないので縣水産會では炭礦との間に鑛毒問題を起した賠償交渉中目下紛擾中で又際去る大正九年以來總會の決議に基づいて蘆谷輪燈臺に霧笛信號の設置方其筋に請願して居つたがいつかなその實行容易ならざる模様になり一方小名濱築港の完成によつて同港に碇泊難する船舶益々多きを加へ濃霧中の航行に一層の危険を増して來た處に委員を擧げ交渉したところ礦

内郷と勿來で

礦毒騒ぎ

勿來町大字窪田字酒井地内の水毒のためといふより炭礦の下水田十五町歩は本年水稲を收穫し耕作者が取入れたためだらうたところ今年作より四割以上の拒否して取合はぬので農民側減收が甚だしくは一反一俵位のは七日石城郡駐在所野村農林技師の派遣を求め技術的に實地調査をなしたが水田には眞白く調査が吹き出されてゐる事わかり賠償交渉中目下紛擾中で又際去る大正九年以來總會の決議に基づいて蘆谷輪燈臺に霧笛信號の設置方其筋に請願して居つたがいつかなその實行容易ならざる模様になり一方小名濱築港の完成によつて同港に碇泊難する船舶益々多きを加へ濃霧中の航行に一層の危険を増して來た處に委員を擧げ交渉したところ礦

まで支出しやうと主張し行儀んでゐたがその後數回協議の結果千圓を見舞金として支出するに決し九日解決した。

平運輸會社で

運賃値下を斷行

米穀商組合の要求で 値上案圓滿解決

平地方に頻々たる

強震の震源地

小名濱東十四里附近

九日午後四時十二分平地方に強震、野田、小名濱久保田各醫師震あり人々戶外に飛び出したが立會の上大原博士の執刀で開腹手術を行ひ盲腸を切りとつた上その上胃されてゐた皮膚様囊腫を切り取り以來經過頗る良好である。

大原醫學博士

開腹術を見る

驚く可き博士の打診

本社長佐藤作平氏夫人は別項の如く去る四日以來右下腹部に激痛を覺れたため直ちに醫師數名の診察を乞ふたが病名判然せず或は盲腸炎と言ひ或は捻腸と斷じ各種の醫藥を續けてゐたが、發病以來全く絶食の状態であるので、便通更になく腹部に苦しみを覺える度に日に増し加はりに去る九日夜に至つて主治醫師は容態容易ならず重症と斷じたが十日午前山田市太田病院院長太田三郎氏が見舞ひに來り、此儘で死に角腸が閉塞したのだから開腹の手術を行はねばならぬ、福島市の大原博士は此方面に於ける手腕既に定評ある人で、大原博士の手術により死に至らぬ止むを得まいとの奨めにより大原博士を招く事になり大原博士は十日午後九時四十分がため來平した博士は先づ今日まで患者を取扱つた醫師から容態を聞き盲腸炎より來た腸閉塞らしいとの斷定を下し患者を診察した結果、盲腸が胃に付着した部分附近に化膿した部分があるを以て打診によつてその部分を切り、開腹して半ば腐敗に

各會社總會

四時川電氣會社

磐東銀行

植田町電氣株式會社

植田電氣

植田町電氣株式會社にては十五日午後一時から同社に於て總會を開き昨下半年の貸借對照、利益處分案等を附議するが重役會では年一割二分の配當案を可決した。

近き盲腸を切り取つた。

盲腸を切り取つたが流石は名だる博士である、先に診察の際打診に化膿した部分のありやうに感じたが、この盲腸を切りとつただけではそれに対する學術的説明が出來ぬ、この外に疾患があるに相違ない自信を以てそれを探つた而して間もなく卵巢外面に附着してゐた直徑四寸大の皮膚様囊腫を發見し之を切りとつた手術時間三十分にして全病根を除く事が出來たといふ。尚ほ附記するが此皮膚様囊腫は數年來の持病であつたもので當て同夫人が之が診察の爲て東京に三博士の診察を乞ふても發見され得なかつたもので、それだけ大原博士の手腕の非凡なる事が窺はれる

吉田屋吳服店の 萬引女捕はる

夏井村大字山崎字明石内農志賀であるから二月下旬頃平町を中ヨネ(五八)は十日午後十一時頃心として同好者に依つて平町馬車平町鍛冶町吉田屋吳服店事吉田場が設置される事いはれて由三郎方店頭に至り風呂敷一枚の俱樂部には乗馬を三頭位常半襟を買ひ求め店員の隙を窺ひし會員からは一定の會費を徴ひ陳列所からメリンス一丈九尺收してこれを貸與し維持費とし價格三圓十八錢の外メリンス四つ將來は同俱樂部が主催となつ反價格二十餘圓を萬引し自分の競馬會及遠乗會等を儲け計費角巻きの中に隠したまふ材木町である。

田久准訓導告別式

井村大字三島生れ同郡警備村第二小學校准訓導田久み(二)三)は八日午前十一時頃放課後休憩中心臓麻痺を起して卒倒手當の甲斐なく死亡したので九日午後一時から同校内で盛んな告別式をあげた。

運命鑑定

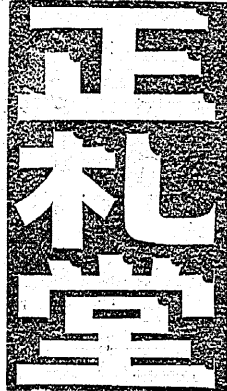
平新報社では十四日、十五日の兩日運命大學長小林宣園氏を招き平町住吉屋本店に於て運命學講演會を行ふ筈であるが十三日午後五時からは聚樂館に於て運命學講演會を催はす。

乘馬クラブ

最近平町地方には乘馬の風が盛んになり乘馬俱樂部の設置が叫ばれてゐたが、平町加藤丈夫、山崎清三兩氏、四倉町佐藤九平氏等に依つて俱樂部設置は愈々具体化し目下現案を起草中との事

落磐で壓死

磐崎村藤原字一本木鈴木一郎方居住朝鮮平安南大同郡林原面生れ三井炭礦坑夫朴龍漢(四〇)は十日午前十時十分同礦又右四坑附近で採炭作業中落磐のため壓死した。



期節向紙製品は
定評ある

平町紺屋町(縣社通り)
美味で評判のイウキ食堂
電話四六〇番

貸カシキモノ
衣ノ裳

平古鍛冶町一
若荷屋貸衣裳店

石城百番附第二回人氣投票 前途ある人...は誰

本社に曩に平町「買ひ良」店人氣投票を企て盛況裡に締切り第二回として平町居心地よい旅館料理店の投票募集を発表したが其後諒間に逢ひ此方面の人氣投票を遠慮すべきものと思斷し之を他日に譲り左の如く投票募集を變更する。近く市制を施かんとする將來の平町は勿論廣く石城を代表すべき前途ある青年は誰か...彼等の意氣を更に鞭撻する意味から各位が眞に前途ある人ご信する人の投票を乞ふ。

規定

- ▼年齢四十五歳以下
- ▼用紙は本紙刷込用紙又は官製はがき
- ▼筆記無記名可
- ▼締切 三月十日
- ▼発表 三月十一日
- ▼當選者を十名とす
- ▼届先 磐城時報社人氣投票係

投票 用紙

せせのふく薬

咳止痰除
七キドメタンキリ



特約店平町四丁目關内藥局電話四〇番

大熊が来ました!!!

熊の肉は御存じでしよがあたゝまる事は申上る迄もありません。目方は四十八貫目餘の熊故やわらかで殊にたいい事請合です。冷性の御婦人には最も爲めになります。子供衆の寝小使には二度も上ればきつと止まります事保險付

肉百目 金壹圓五十錢也
一疋の熊ですから買切れぬ内早く買下さい二度と買われません。

油は 一疋、やけど、ひび、あかぎれ、しもやけ、さきさき平町土橋角(電話六六二)

丸仙魚 茂
◆安産の御守に有名な熊の「百毒」を貸し致します
熊の皮は御入用の方に安價で販賣致します

吉田眼科醫院

平町紺屋町 電話六八番



金印半天専門
優秀品の証明
草野染工場
磐城平町 電話三四八番

神戸海上運送火災保險會社
東洋海上火災保險會社 平代理店
共保生命保險株式會社
貸家案内 貸地案内

柳町 勤人向 八、五〇 平町街跡、本九二ノ九
五丁目 同 四、五〇 平町大町、八幡小路
白銀町 同 一、四〇〇 柳町、内郷村線停車場附近
内郷村小島 同 一、二〇〇

加藤丈夫營業所

平町白銀町(電話三三番)

三井吳服店

平町三丁目 電話三十八番

嶺新奇抜な
伊勢崎錦仙模様
結納物一式
江戸襦袢小紋錦紗
豊富に取揃へ申候

◎新らき柄と安値
自熱的大好評—實用冬セル
ウールライン